

日本気象学会関西支部 第 29 期第 1 回常任理事会議事録

日 時：2010 年 7 月 29 日（木） 17 時 00 分～17 時 20 分

場 所：大阪合同庁舎第 4 号館 大阪管区気象台

出席者：佐々木、向川、石岡、大澤、岡留、諸岡（常任理事）

井口、江崎、小島（幹事）、大林（全国理事）

塩谷、藤井、西（秋季大会実行委員）

議 事

1. 第 32 回夏季大学

今年の夏季大学について、夏季大学事務局から申し込み状況、夏季大学テキスト原稿作成状況について、以下の通り説明された。また、当日の役割分担等について打合せを行った。

日時：2010 年 8 月 28 日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：「台風」

1 「台風の基礎」

上野 充氏 （気象研究所物理気象研究部 部長）

2 「台風予測の最前線」

國次 雅司氏 （気象庁予報部予報課太平洋台風センター 所長）

3 「台風の高解像度シミュレーション」

坪木 和久氏 （名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

○申込状況（7 月 29 日現在）

75 名（メール：69 名、はがき：6 名） （参考）テキストのみ購入：3 名

○夏季大学テキスト原稿

國次氏：受領済み、上野氏：7 月末予定、坪木氏：8 月 9 日頃予定

→ 8 月 16 日の週には印刷完了予定

○当日の分担等の確認

5 月の常任理事会の議事結果を踏まえて作成した役割分担や当日のスケジュール（案）を事務局から示し、概ね了解された。意見や決定事項等について以下に示す。

- ・夏季大学において使用するスクリーンやマイク等についてキャンパスプラザに確認すること。
- ・夏季大学の受講定員を最大 120 名で締め切ること（会場定員は最大 150 名程度）。

2. 支部ニュース第 264 号の発行

8 月初めに発行する予定。案のチェックを各理事に依頼した（締切：8 月 2 日）。

常任理事会に引き続き、日本気象学会秋季大会第2回実行委員会を開催した。
実行委員会では、講演申し込み状況の連絡、役割分担及び大会当日の人員配置等についての打合せを行った。

以上